

整備効果 ①：移動時間の短縮

西伸部の整備により、国際コンテナ戦略港湾・阪神港や関西国際空港などの物流拠点への移動時間が短縮され、物流効率化が図られます。

現在、阪神高速3号神戸線の渋滞損失額は全国ワースト1位

都市高速1km当たり渋滞損失額TOP5 (夕方3時間(16~18時台)の年間累計)

順位	路線名	渋滞損失額 (億円/km)
1	阪神高速 3号神戸線(上り) 月見山⇒神戸都心⇒深江	1.23
2	首都高速 渋谷線+都心環状線(上り) 東名高速⇒皇居⇒両国	1.16
3	首都高速 渋谷線+都心環状線(下り) 両国⇒皇居⇒東名高速	1.16
4	首都高速 6号線(三郷線+向島線、上り) 常磐道⇒隅田川沿い⇒両国	1.08
5	首都高速 新宿線+都心環状線(下り) 日本橋兜町⇒東京タワー⇒霞ヶ関⇒中央道	1.06

出典：国土交通省調べ(H24プロローブデータより)



京橋ランプ付近 混雑する阪神高速3号神戸線

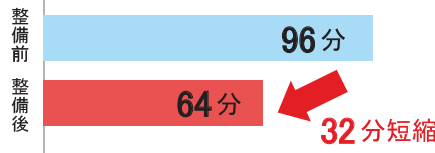
移動時間の短縮



■神戸市西区(玉津IC)～神戸港



■神戸市西区(玉津IC)～大阪駅



出典：国土交通省調べ(H25.10平日の17時台の平均旅行時間)

整備効果 ②：代替路の確保

西伸部の整備により、代替路の確保が可能となり、交通事故等による阪神高速3号神戸線通行規制時の一般道への交通集中が緩和されます。

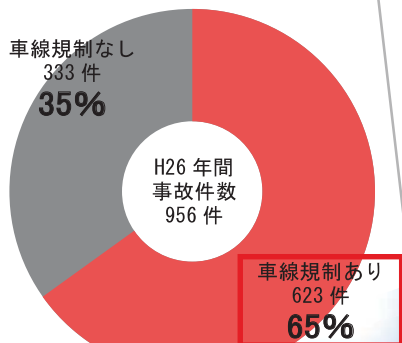
現在、阪神高速3号神戸線の魚崎ランプより西側には事故の多い区間が点在し、その事故件数の約7割で事故処理のために車線規制が行われています。

⇒車線規制により一般道へ交通が集中



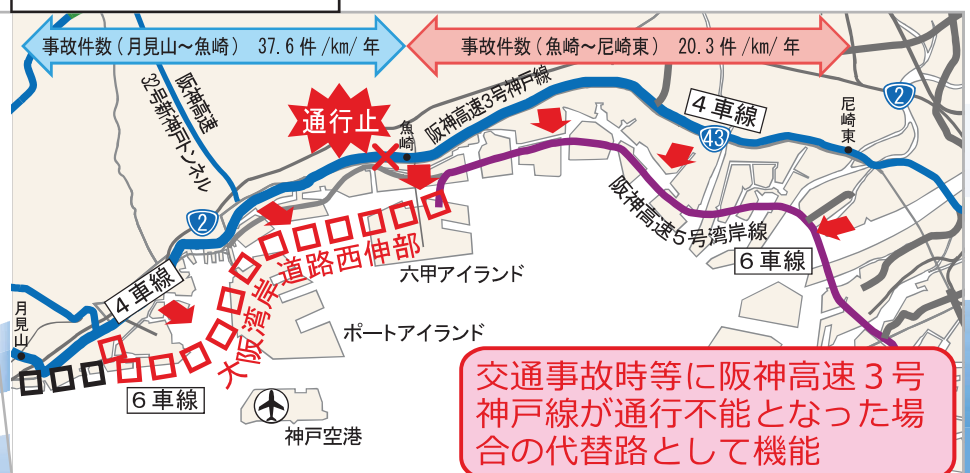
阪神高速3号神戸線の集中工事による国道43号の渋滞

■阪神高速3号神戸線の事故件数内訳



出典：阪神高速道路(株)調べ(H26年度事故データ) ※兵庫県域・本線部のみ

交通事故等通行規制時



交通事故時等に阪神高速3号神戸線が通行不能となった場合の代替路として機能

事故件数出典：阪神高速道路(株)調べ(H26年度事故データ)